

宮崎県感染症週報

宮崎県薬務感染症対策課・宮崎県衛生環境研究所

令和7年第40週 (ARIのみ第39週) の発生動向

トピックス

・インフルエンザ(定点把握対象疾患)

第40週(9/29~10/5)の県内定点当たりの報告数が2.9となり、流行開始の目安(1)を超えた。昨シーズンと比較して1週間早く、今後の動向に注意が必要である。詳細後述。

全数報告の感染症 (40週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。4類感染症：報告なし。
5類感染症：アメーバ赤痢1例、劇症型溶血性レンサ球菌感染症1例、梅毒1例、百日咳7例。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型・類型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	男	結核性ぶどう膜炎	その他
			50歳代	男	肺結核及び結核性リンパ節炎	なし
		延岡	20歳代	女	肺結核	咳、痰
5類	アメーバ赤痢	宮崎市	40歳代	女	腸管アメーバ症	粘血便、腹痛、大腸粘膜異常所見
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	宮崎市	50歳代	男	—	ショック、DIC、軟部組織炎
	梅毒	高鍋	20歳代	男	無症状病原体保有者	なし
	百日咳	宮崎市	10歳代	女	—	持続する咳
			10歳代	女	—	持続する咳
			30歳代	男	—	持続する咳
			50歳代	女	—	持続する咳
			60歳代	女	—	持続する咳
			都城	10歳代	女	—
	延岡	10歳代	女	—	持続する咳、ウーブ	

定点把握の対象となる5類感染症

・第40週の定点医療機関からの報告総数(急性呼吸器感染症除く)は576人(定点当たり30.9)で、前週比112%と増加した。なお、前週に比べ増加した主な疾患はインフルエンザ、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎及び伝染性紅斑で、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症であった。また、第39週の急性呼吸器感染症の報告総数は1,247人(定点当たり44.5)で、前週比92%と減少した。

【インフルエンザ】

報告数は81人(2.9)で、前週比476%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.2)の約11.9倍であった。年齢群別は15歳未満が全体の約8割を占めた。

【新型コロナウイルス感染症】

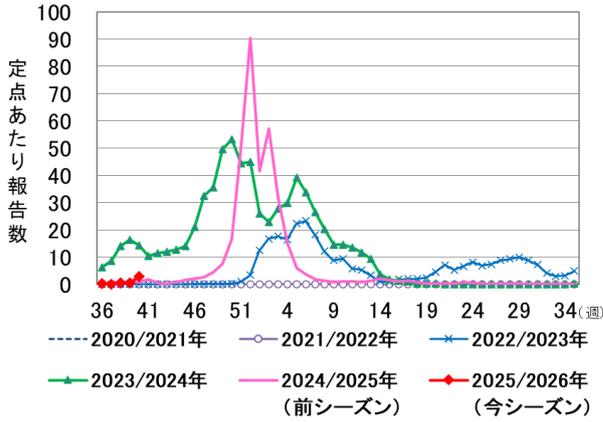
報告数は207人(7.4)で、前週比80%と減少した。年齢群別は20歳未満が全体の約半数、60歳以上が全体の約2割を占めた。

【伝染性紅斑】

報告数は78人(5.2)で、前週比173%と増加した。例年同時期の定点当たり平均値*(0.5)の約11.3倍であった。年齢群別は3歳から8歳が全体の約8割を占めた。

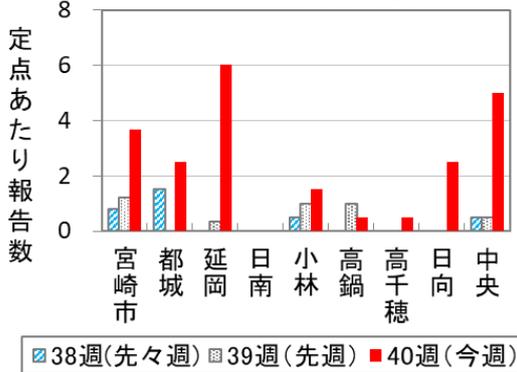
* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

インフルエンザ 発生状況

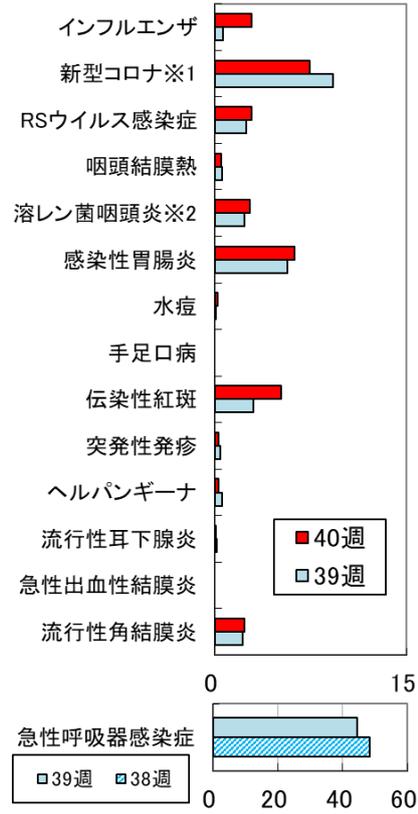


※2025年第15週からは定点医療機関数が58から28に変更

インフルエンザ 保健所別推移(3週分)



《前週との比較》



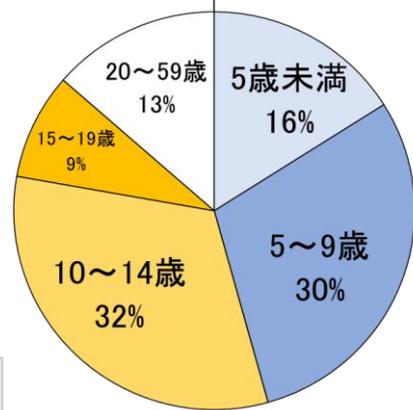
定ポイントあたり報告数

※1 新型コロナウイルス感染症

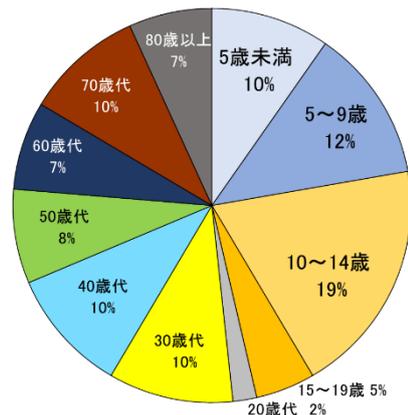
※2 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

インフルエンザ年齢群別グラフ(第40週)

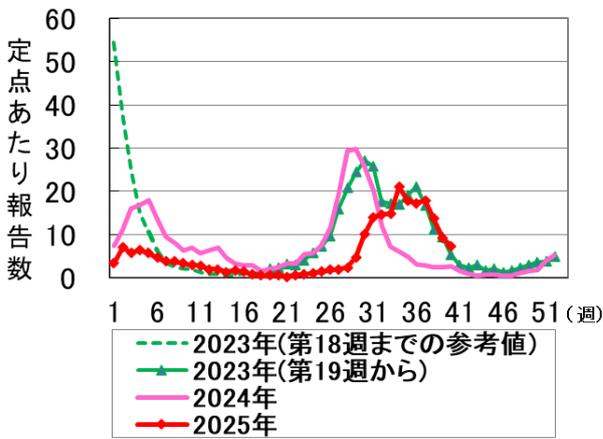
60歳以上 0%



新型コロナウイルス感染症 年齢群別グラフ(第40週)



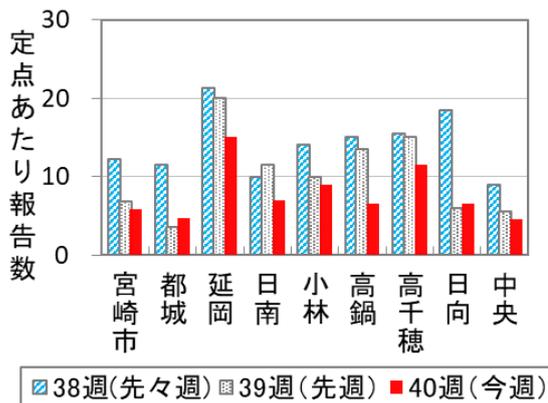
新型コロナウイルス感染症 発生状況



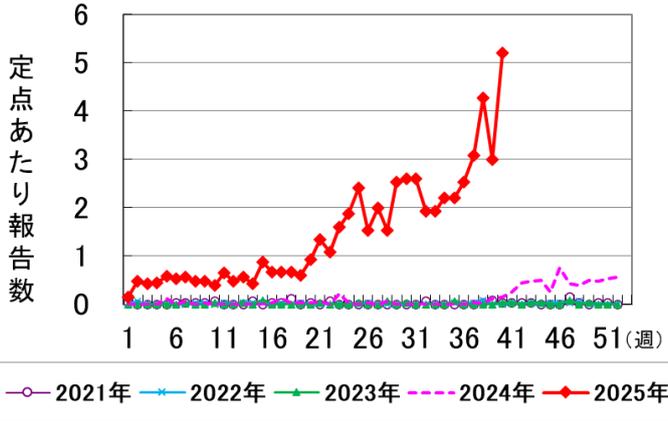
※2025年第15週からは定点医療機関数が58から28に変更

※新型コロナウイルス感染症の2023年第1週~第18週分のデータは、定点医療機関からの報告数をもとに算出した参考値

新型コロナウイルス感染症 保健所別推移(3週分)

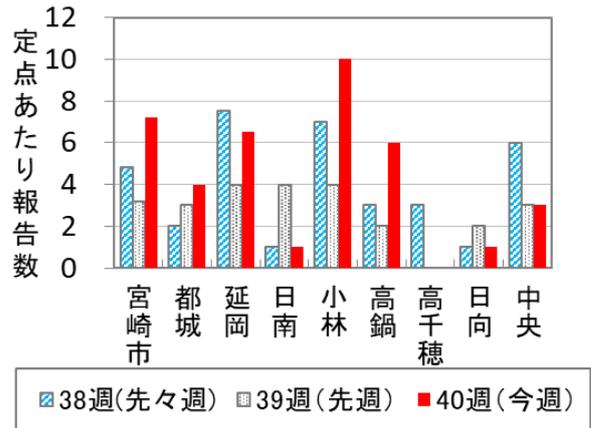


伝染性紅斑 発生状況



※2025年第15週からは定点医療機関数が36から15に変更

伝染性紅斑 保健所別推移(3週分)



★基幹定点からの報告★

報告なし

★保健所別 流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患

保健所名	流行警報・注意報レベル基準値以上の疾患
宮崎市	伝染性紅斑(7.2)
都城	水痘(1.0)、伝染性紅斑(4.0)
延岡	伝染性紅斑(6.5)
日南	なし
小林	感染性胃腸炎(27.0)、伝染性紅斑(10.0)
高鍋	伝染性紅斑(6.0)
高千穂	なし
日向	なし
中央	伝染性紅斑(3.0)

※流行警報レベル開始基準値*

- ・感染性胃腸炎(20)
- ・伝染性紅斑(2)

※流行注意報レベル基準値*

- ・水痘(1)

※流行警報レベル開始基準値、流行注意報レベル基準値は令和6年度まで運用した参考値です。

□病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部）

★急性呼吸器感染症 (Acute Respiratory Infection : ARI)

(2025年第39週:9月22日～9月28日搬入分)

検出病原体		検出数	
インフルエンザウイルス	A型	AH1pdm09	0
		AH3	0
	B型	ビクトリア系統	0
		山形系統	0
新型コロナウイルス		8	
RSウイルス	A型	0	
	B型	0	
パラインフルエンザウイルス	1型	0	
	2型	1	
	3型	0	
	4型	0	
ヒトメタニューモウイルス		0	
ライノウイルス		1	
エンテロウイルス		0	
アデノウイルス		0	
検出せず※2		2	
受付検体数		12	

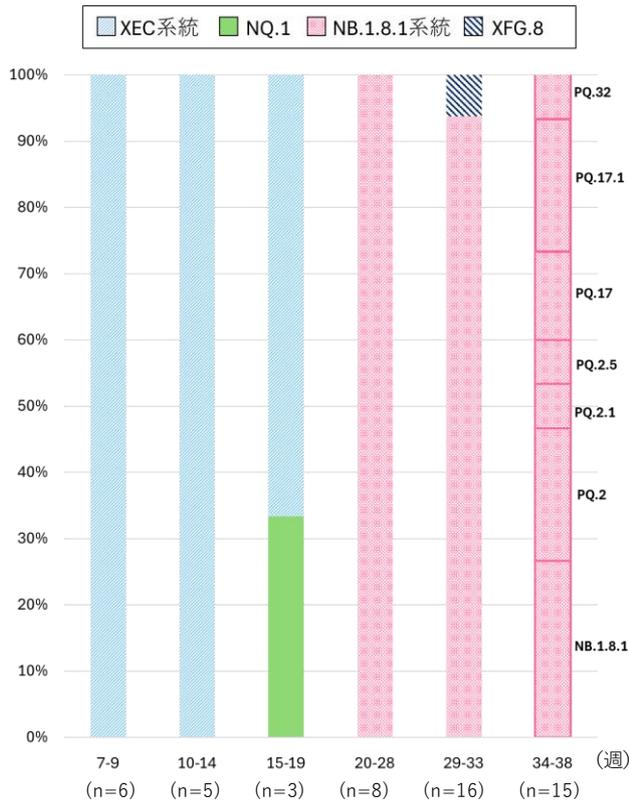
○ 急性呼吸器感染症 (ARI) ※1サーベイランス検体について、急性呼吸器感染症サーベイランス遺伝子検査マニュアルに従い、検査を実施した。

※1 急性呼吸器感染症 (ARI) : 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか 1 つ以上の症状を呈し、発症から 10 日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例

※2 左記のいずれのウイルスも検出されなかった検体数を計上

□新型コロナウイルスゲノム解析結果情報（衛生環境研究所微生物部）

新型コロナウイルスゲノム解析週と検出系統



○ 第34-38週はPQ系統を含むNB.1.8.1系統が100%であった。(NB.1.8.1は27%、PQ系統は74%) ※端数処理の関係で、内訳の和が100%になりません。
PQ系統は、NB.1.8.1の下位系統であり、NB.1.8.1はJN.1株とXDE株の組換え体であるXDV株から派生した変異株である。

※ 衛生環境研究所においては、宮崎県感染症発生動向調査事業実施要綱に基づき、急性呼吸器感染症(ARI)の病原体定点から提出された検体を用いて新型コロナウイルスのゲノム解析を実施している。
なお、解析検体数が多くない場合は割合の変動が大きくなる。

全国 2025 年第 39 週の発生動向

□ 全数報告の感染症

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	208 例				
3類感染症	細菌性赤痢	1 例	腸管出血性大腸菌感染症	96 例		
4類感染症	E型肝炎	6 例	A型肝炎	6 例	エムボックス	1 例
	重症熱性血小板減少症候群	4 例	デング熱	4 例	日本紅斑熱	14 例
	レジオネラ症	55 例	レプトスピラ症	8 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	4 例	ウイルス性肝炎	2 例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	18 例
	急性弛緩性麻痺	1 例	急性脳炎	12 例	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15 例	後天性免疫不全症候群	13 例	侵襲性インフルエンザ菌感染症	4 例
	侵襲性肺炎球菌感染症	12 例	水痘(入院例)	7 例	梅毒	147 例
	播種性クリプトコックス症	2 例	百日咳	1001 例	麻しん	1 例

□ 定点把握の対象となる5類感染症

定点医療機関当たりの患者報告総数(急性呼吸器感染症除く)は前週比94%と減少した。なお、前週と比較して増加した主な疾患はインフルエンザで、減少した主な疾患は新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症、感染性胃腸炎及びヘルパンギーナであった。また、急性呼吸器感染症の報告数は前週比103%とほぼ横ばいであった。

新型コロナウイルス感染症の報告数は22,640人(5.9)で前週比85%と減少した。愛媛県(10.1)、大分県(10.1)、宮崎県(9.2)からの報告が多く、年齢群別では20歳未満が全体の約4割を占めた。

伝染性紅斑の報告数は2,869人(1.2)で前週比99%とほぼ横ばいであった。例年同時期の定点当たり平均値*(0.3)の約4.2倍であった。佐賀県(4.9)、長崎県(3.5)、山形県(3.3)からの報告が多く、年齢群別では3歳から6歳が全体の約7割を占めた。

* 新型コロナウイルス感染症流行前5年間(2015-2019)の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

宮崎県 感染症情報

(41 定点医療機関)

2025年 第40週 (09月29日～10月05日)

疾病名		第39週	第40週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	17	81	33	10	18		3	1	1	5	10
	定点当り	0.61	2.89	3.67	2.50	6.00	0.00	1.50	0.50	0.50	2.50	5.00
新型コロナウイルス感染症	報告数	258	207	53	19	45	14	18	13	23	13	9
	定点当り	9.21	7.39	5.89	4.75	15.00	7.00	9.00	6.50	11.50	6.50	4.50
RSウイルス感染症	報告数	37	43	10	1	9	11	1			10	1
	定点当り	2.47	2.87	2.00	0.50	4.50	11.00	1.00	0.00	0.00	10.00	1.00
咽頭結膜熱	報告数	9	7	4		1					2	
	定点当り	0.60	0.47	0.80	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	2.00	0.00
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数	35	41	12	5	8	2	6	4	2	2	
	定点当り	2.33	2.73	2.40	2.50	4.00	2.00	6.00	4.00	2.00	2.00	0.00
感染性胃腸炎	報告数	85	93	23	5	14	4	27	6		10	4
	定点当り	5.67	6.20	4.60	2.50	7.00	4.00	27.00	6.00	0.00	10.00	4.00
水痘	報告数	1	3	1	2							
	定点当り	0.07	0.20	0.20	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
手足口病	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
伝染性紅斑	報告数	45	78	36	8	13	1	10	6		1	3
	定点当り	3.00	5.20	7.20	4.00	6.50	1.00	10.00	6.00	0.00	1.00	3.00
突発性発疹	報告数	6	4	2		1						1
	定点当り	0.40	0.27	0.40	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00
ヘルパンギーナ	報告数	9	4			1		2			1	
	定点当り	0.60	0.27	0.00	0.00	0.50	0.00	2.00	0.00	0.00	1.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	1			1						
	定点当り	0.13	0.07	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	13	14	10	2	2						
	定点当り	2.17	2.33	3.33	1.00	2.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数	3										
	定点当り	0.43	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	報告数											
	定点当り	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

2025年 第39週 (09月22日～09月28日)

		第38週	第39週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
急性呼吸器感染症	報告数	1353	1247	384	116	167	110	111	80	69	117	93
	定点当り	48.32	44.54	42.67	29.00	55.67	55.00	55.50	40.00	34.50	58.50	46.50

ARI定点:28、小児科定点:15(ARI定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

●全数把握対象疾患累積報告数(2025年 第1週～40週 保健所受理分)

2類感染症	結核	102例(3)										
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	26例										
4類感染症	E型肝炎	2例	A型肝炎	1例	重症熱性血小板減少症候群	5例						
	つつが虫病	8例	デング熱	2例	日本紅斑熱	23例						
	レジオネラ症	6例										
5類感染症	アメーバ赤痢	3例(1)	ウイルス性肝炎	2例	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1例						
	急性脳炎	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	15例(1)	後天性免疫不全症候群	4例						
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	2例	侵襲性肺炎球菌感染症	19例	水痘(入院例)	3例						
	梅毒	103例(1)	播種性クリプトコックス症	1例	破傷風	3例						
	百日咳	1,367例(7)										

()内は今週届出分、再掲